桃白白芭蕉句集
表

崑山集をいとまなくけみ侍る
中ごろ系けり年既より和歌より
俳諧歌あり狂連歌より毋那をの
ゑてうにもてはやされ道を松尾翁より
かしけるをこそ事ようとて写
こそ侍るなれよりて代々に

たゝしは道よりこゝろむとく
法華くよ出まうてをくおれく
ゑを振のさるくよ写ゆ奥後家
ゆく世乃ゑよつまて人乃こゝろ
ゑとをもうつるゆ幸のをゑへし今
世集をゑゝ今の世の手振な

ゑゝし物して今の世のを家人
たちに見せて今の世の手振な字
まゝまゝしめんあり家を

文政三年八月

石津亮澄

俳諧流行七部集　小本　全二冊　新撰合　雪まろげ　嵐雪作　炭俵　嵐雪作　月見の会　去来作　奥外　芥子柄　附録　三十六人歌句集

此書は当時名ある名匠の歌句を附録したるものにて三十六名家の歌句を附録したるものなり

俳諧名所歌句集　中本　全部　四冊

此書は中絶易を主としてすべて社仏閣山川津々浦々名所古跡名物名産をいつるまでこれを集て守武貞徳を始甚角嵐雪其外先哲よりの名をきこえたるものの歌句をあつめ出て作例とせし所の好士つねよりあつめおきたるものなり

歌句歌林十二月枝　寸珍本　全　壱冊

季ごとにあつめたる歌句は経よりの古人の名句を作例のごとあつめ出し十二月より部部にしたがひ季ごとに雅題をもて陳らせ事あく解しがたき題は注をくわへ用ひし所の名所はまたまたもくわしくあらはし諸中本の便用とせり

芭蕉翁附合集　評注　篤志著　小本　全部　二冊

此書は当時芭蕉翁の名句あつめおかれる篇一世に附合集まくらく注をくわへ句を味とせしことを此所にて忘れざるべし人はまの此書を指材とせり

俳諧近世歌句類題集春部目録

正月　元日　立春　初春　今年　明年　夜の春
去年　宿の春　来年　昨年　初春　三月
春の月　初日　初霞　春川　御陵　星佛
いねつむ　出初　遠初　初夢　室永　三月二ヶ日
蓬莱　初暦　福寿草　屠蘇　福茶　福豆　四
雑煮　若餅　太箸　御膳　つ礼　年玉
門松　注連飾　稽俵　つ松　松内　松ゑ
福寿　茅蜩　偶偶師　相公　羽子　人日
子日　小松曳　若菜　芹　菫　八十七草

たびらこ　鈴菜　左義長　饒焼　卯杖　粥杖　九十
御忌　養父入　仏　木芽　草苺　十十　蕈
若草　春草　去草　蒲公英　十一　茅花　芦芽
蔦葉　蔦芽　蔦芽　苔子若菜　はこべ　蕗花　蕗薹　十二
菫花　梅　十三　柳　若翠　十四　鶯　百子鳥
余寒　春寒　佐保姫　十五　東風　沫雪　春雪　十六
うぐひす　菜の花　大根花　菘子苗　海苔　烏牛　十七
二月　如月　二日灸　初午　ひいな　十八　西行忌
涅槃　春麦　春風　残雪　雪間　十九　雪解
長閑　椿　紅梅　十十　接木　指木　畑打

田打　苗代　水口祭　十二　山焼　朧夜　春夜
朧月　十三　春月　かすみ　糸柳　出代　十四　田螺化　蛙鳴
蛙鳴　鳥交　鳥巣　雀子　燕　十五　蝶
蛇　蜂　猫の恋　十六　蟇　田螺
小鳥交　雲入鳥　十六　雲雀　雉子　鳥賊　仮雁　十七
春鳥　春鶯　初蛙　若鮎　鰤　鱠　十八　白魚
三月　四月　雛　十九　曲水　草餅　蓬餅
菱餅　桃の日　汐干　鮎　十十　蜆　海元蘭
寄居虫　飯蛸　蒸鰈　蜑　十十　孕鹿　落角
春野　春の山　春川　春水　十十二　春海　春夏　十十三

春興　別題春　春雨　春日　描　春泥　芹
梅花　初さくら　佐久良　糸櫻　八重櫻　遅さくら
初花　芋　花　芋　梨花　海棠　辛夷　杏花
木蓮　馬酔花　芹　草　欵冬　蕨　四十木瓜
沈丁花　櫻花　菜つむ　四　蓬　麹　椿枝
さくら貝　反魂草　萬年菜　薺　菜　水草生
萍生　蛇穴出　寒食　炉塞　四三　彼岸　春名残
春雪　反逆　四三　春暮　三月尽　四四

俳諧近世歳句類題集春部

江戸雀堂来曽編

正月

正月や　乙二
正月や　所見
正月や　葛三
蕎の蕊　正月　井眉
正月や　焚布団　巣兆
正月や　七日　我月　青峯

元日

元日や富士の上の雪の美　完来
元日といはうるも神の玲　雪雄
元日や海ゝ中もしき新霞　三逸
元日や高ふもしろく山の形　歳朶
元日のかゝるの色二百ゝ乳　素鐘
元日や市一百ゝ絶もせず　本僊

立春

春ゝ川や梅とさゝる猪の先　士朗
春ゝやく五三の白雲ゝ多　素鐘
あゝたまの達たゝる氣の邪　一茶

今年

行燈をかゝ山はさゝ午心
二百ゝ百ゝ百ゝ百ゝた、ゝ年乳　丘高
月花や山ゝのかゝ神ゝて　蓼亭

明夷　冬の夷　夜の春

石よつく昔のゝ午明の春　美紀
今年の春ゝゝゝの乳紫　立高
元日と二月の乳ると　夜の夷　井眉
千代の夷　やゝの春
人ゝゝゝ乳のゝよ千代の春　貞鶴

彼岸の日すまし　けりのあるかなし　午心

花の美

[illegible]　[illegible]の春　土朗

[illegible]の[illegible]　[illegible]

日本橋うつ[illegible]の明[illegible]花のまち　定来

花の春　玉の書　初春

光り春　[illegible]好と生[illegible]　定来

[illegible]山[illegible]　[illegible]の[illegible]と玉の美　乙二

初[illegible]　[illegible]人の般　一茶

[illegible]　初日

初[illegible]　[illegible]の山[illegible]　素梁

[illegible]　[illegible]獅[illegible]大[illegible]　一茶

春の[illegible]　[illegible]　初[illegible]　乙二

初[illegible]　初[illegible]

[illegible]　[illegible]　初[illegible]　寒美

[illegible]の[illegible]上[illegible]　爽松

[illegible]　[illegible]　初[illegible]　定来

山[illegible]　[illegible]

[illegible]の野[illegible]　初[illegible]　寒美

金[illegible]　[illegible]　[illegible]　初　烏

[illegible]　[illegible]佛　冬鬼

仰陳ハものたるまゝ　定素
月花乃祝ひ安し　星仏　三子庵

い祝つゝ
二百も狂い祝つゝ　猿まつ
ひ祝つゝた雑もあり養の松　五明

書初
書井ゝ人皺をあるよやの祝　三子庵
松ひもまゝ数の手たゝ筋　成美

初夢　宝舟
夢やかゝ舟よ島　護物

夢ヤうゝとかゝ年心
ゆうをつむゝ　寒舟　照雷

三ヶ日
ゆの宿かゝ井三ヶ日　定素
三ヶ日たゝぬ胡庭たゝ付　寒松
三ヶ減るまゝ井ヶ月ゝ　宗美　月夜春中
人ゝ梅ゝ春三日　菊江安

蓬莱
夢ヤ我生日の夢ゝ一草
蓬莱人のまゝ蓬莱ハ米り梅ゝ　秋蓼

蓬莱や若野こるまん老いぬ　葛三

さくさくと咲くまゝにくるまん暦　朱美

福壽草

妙山もちらふるうや福壽草　葛三

福壽草はなさきとうくり　大只九

屠蘇　福茶　福酒

屠蘇なのあるくやこゝ孔雀の声　乙二

松竹と梅こも出る福茶哉　来雪

思ひ神様はなるもの福酒　成美

雑煮　ゆもち

たつのくちやゆきまつ雑煮ぞくる　一時　舟三

芳野やきまつ搗ちむ梅の花　一茶

太箸

太箸や蛇一蛭の知　川知

太箸も月まつ箸の扉哉　蓼太

太箸や剃こぬ先の杉の月　菜船

俳諧　つ礼

鼠とあるふ雪よ小　三千代

隣うち太日の暮る俳諧小　午心

つ礼やもちゝ色の墨川　実素

年玉

我養や年の寿命の長き　一茶

寿命乃種をいくつ蒔ぬ　葛三

寿命や文殊に乞て　午心

つ勝　注連

内の春の庭も身をうつす　篤光

山松の子の門の内　貞興

注連の子の花の養分　蒼孔

新年一穂の稲の葉　木僊

穂俵

乙二

つ松　花もしくと印のかりつ乃松　定素

つ松の陰もありて海乃音　布空

松の内

年の内や立出ふは　松の内　士朗

春の海ふかし　稽さ　松のうち　稜巴

松色

松の人のつまと老盤之　大江丸

春寿乃俵の新も松色　三千代

福寿

福引の仕あてあるかな佛　大江丸
福寿やあけて坐るく つの雪　午心
福引やむかしかたりこうさるよくの夢　李夔

萬歳

美しやあたゝかの吟心新せん　三子夫
美歳よ白髪くゝ引毛かゝる山　午心
万歳も聲ふ鏡陸の敷南　乙二
橋掛くゝ乃木ひくる山かゝ　椿岩
萬歳を雪を拂ふ新神　雁雄

傀儡師

傀儡師　玄性
蝶鳥くつけまきゝ小て
青柿子傘ゝ傀儡師　月兎

祖父　羽子

松陰や猿子たゝき猿山　千當
家あるき猿乃なくるものかゝく　一茶
さる寿乃つもあもの妻のゝ　貞徳
羽子つくやかゝゝ子の流ゝ　素迪
羽子板子浦乃笠寿乃　完来

人日

人乃日や我者乃日ハ山乃上　吳光
人の日布女の年へ砂とりの　葛三
人乃日の宮布ゆん　ゆゆふまん　宗素

子日　小松殿

この豊を手ゝとりハ子の日　葛三
子乃日ゆる　ゆめ　ゆ　き　寺の　茶美
ゆ　畑乃　ゆ　ゆ　子日ゆ　三子爲
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　子日ゆ　素鑑
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　蔓扎
小松　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　三子爲

子日ゆ　小松を養ゆ　樓堂

子葉

老うゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　士朋
仁和寺を　ゆ　ゆ　ゆ　雪雄
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　三子爲
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
鶴　鴿　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　景祇
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　貞興
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　篤光

芹

以前のつゝき古島帽子ふるく芹はな　宗長

芹摘て出るかゝ磯の梅ゝ　乙二

あれられて流れ〳〵に根芹哉　一茶

うゝ敷ゝたにりもて芹うむ　雪雄

蘭

敷ゝものの中にちやうゝ蘭哉　乙二

浅投ゝあるゝもゝとあや蘭哉

ひらゝきぬまの蘭のあり〳〵　葵亭

市ひかるの小蘭ゝ月と梅　士朔

遠てきものの蘭乃香の寒のまゝ　三千彦

七草

七草ハうゝ紅ゝ白かり　椿堂

七草の六日ゝ花乃板乃ゝ　士朔

七草や敷あ[illegible]ものゝ[illegible]ゝ　きよ

粥草や[illegible]ゝ　乙二

泉野ゝ吟ゝ[illegible]芹蘭　三千彦

つゝゝ出ゝ論家ゝ[illegible]ゝ　宗長

芹蘭ゝ[illegible]の名ゝ[illegible]ゝ

たゝひらゝと[illegible]家

たゝひらゝと[illegible]　乃和

白うをたづさゐるあるあるあ

日ふみはたをりまきの宿れば　三子庵
ひとくさみどりの春のたくひの　弁之

木芽

あの芽吟よふるも待てふまるる雪　乙二
潜るとるる沢の芽に伏る榎外　成美
桐の芽を逆一番の枝を傾　三子庵

芽蒲

芽乃蒲　脚乃葉にかくせぬの　菊之
芽のかしらや枯るるも蒲出る　乙二
逆つめるの沼乃明るものの芽之　三子庵

蕨

芽ふくらみたるのたくひ伊勢の山　素堂

新草

芽のもえ焼中さのの枯尾花　士朗
芽ものもえるるるるて井の跡　三子庵
芽ものもえるるるるて宿女蓬　不寒亭
芽ものもえ明方に海うし　樓雪
芽ものもえ焼と立ち　我菴　乙二

春草

芽ものかるのとこそ山の上

[illegible]　辛夷
[illegible]　士朔

七草

つくづくし　[illegible]　乙二
[illegible]　宝来
つくづくし　士朔

蒲の英

たんぽぽや　[illegible]　乙二
蒲の英や　[illegible]　辛夷
たんぽぽや　日乃[illegible]　午心

春上

たんぽぽや　[illegible]　至雪

茅の花

小島水の[illegible]　茅の花　乙二
[illegible]　[illegible]　月丸
[illegible]　[illegible]　葉亭

芦芽

芦芽　[illegible]　士朔
芦芽やく[illegible]　成美
蔦蒔　芽る芽　[illegible]
[illegible]　三千尺

蕗の芽のかの〳〵赤きさまなる　蕗英　土朋

菊乃芽やものくまつ花と古　竜

苔子葵葉　まこと亀

つゆ〳〵とめかるる苔子の葉に　長雄

逆ひかるも死ぬまんの時我ちまこと人なり　三子老

蕗の葉　蕗花

ふきのはゝ〳〵ものこゝろ〳〵ゆかしき　一草

嵐ともひんゝ引ゝ〳〵蕗のゝ　三徳人

夕影や折るゝかたくなる蕗の葉　三子老

やうゝ〳〵と蕗乃花さく　谷乃水　土朋

春十二

蕎花

ものこゝろすゝ日をめくりの花蕎　年心

我命の未やゝ乃ゝ花乃ゝ　菖三

然寺もいとけなくるや花蕎　三子老

ものゝ心雨ゝ花さく蕎乃花　玉山

梅

根山寺月日の出まゝ　梅花　土朋

春乃花つゝゝ　梅のあ　三子老

花の名ゝ　梅の花　可故里

世ゝ色ゝ金ゝ宮ゝ梅姫　朱美

山ちかき所を見てと詠梅花　乙二
ちるとしく思ふ梅の つゆ　岩木
ふくやしく梅の花　素檗
ほとゝぎす初のこゑ　梅の花　菊三
なつかしめ梅いろ濃うん咲そめ　卓池
梅花こゝ屋うつるとゝロ　丶
梅の目防ぐとてそゝかり　一葉
何ゝ毒梅をゝしとい人ゝ　千心
いやさしてゝ咲ゝ世界ゝ乳梅花　寒松
ひゝゝゝゝゝ梅花　完来

山川やたゝ抗を抜てゝ梅の橋　雪雄
夏ゝ来ゝ咲ゝます〳〵白梅花　万和
梅ちるや新のぬくりのよを法ふ　三徳
ゝめの風ふゝゝゝにあゝゝき　貞柳

柿

青柿の中ゝゝゝの紅ゝ　乙二
青柿の色ゝとゝ色ゝゝゝ深　月水
昔ゝ紅ゝゝゝゝく紅は柿ゝ　士湖
出ゝゝゝ風ゝ高ゝ柿ゝゝ風ゝ　櫻老
鶏の直の何ゝよゝゝ青ゝ柿ゝ　三平元

青柳を面白しとや鳥さへ　朱美
柳をもるるうぐひすを　屋鳥
柳ちるやかすみは　又　柳　可雪
なびくの枝をうぐひすあり　柳　照南
青柳入るなるうぐひす　宗入

若草

鶯

うぐひすの初音聞くや小松の枝　士朗
うぐひすの屋根うつるる畠さへ　乙二
　　春十四

うぐひす我この中の笠うぬ　可雪
鶯の鳴くをまつて出よ人　三子
うぐひすのかくれあるかふるさと　朱美
うぐひすの毎日やまの行ちり　宗入
ちるうぐひすやもの行ちる　柳の中　年心
ちるうぐひすの鳥ハ鳴くうぐひす　士朗
うぐひすの鳥鳴や何の未だのこし　寒松
うぐひすをふまへて下りる捻陽子　木僊
うぐひすやもの見ぬ人の陽炎　井眉

百千鳥

六月日ゝ城下を百千鳥　櫛堂

余寒

ノ野のつくゝゝ法師の声　士朔

家をもとめて出て岩ひばり月おそし　景孔

ちりのゝ鳥ゝかくれ　完来

海光園千世海苔のかゝる家もなし　きくこ

夏寒

ぬれ初て鶯のうつくしる　三千代

あかくゝ月のつゝまれて　櫛堂

佐保姫

春　十五

佐保姫の霞ゆ隠るゝ隔ゝ　成美

さゝなみの野ゝうるゝ帽子　三千代

東風

東風ふく枝の上ゝ　ちゝ宗

さゝ波ゝ東風の上を来ゝ

浅雪

浅雪ちりやをとこるる鶯の子　雪雄

あゝ雪ゝ帝ゝ名残の屑生房　三千代

春雪

春雪の雪ゝ鶯ゝ佐保姫　春鳴

海そこの白魚うかれ出る春の雪　櫻雪

まつの雪こぼれ出るこゑ清　阜池

春の雪ちる所は月うかれ出る　午心

まつすそにきえさくあるよ神垣と　井眉

もえ行く人花も待るる春の雪　雪雄

春の月清かきもとの春の雪　三子光

うぐひす

月花の春の春の春行けば、

春日入る所さびしく鶯の、

うぐひすや花ちりてのち春の雨　乙二

たさしかの何ちなんとも春のうぐひす　可敬

うぐひすの春の日かげのうまきに小雨もふる　成美

うぐひすの春の日の人の物うるに木の芽　菖二

春の日の清き杖を拾ひ　阜池

舟人の沖の方に春の鶯　士朗

うぐひすのなくこゑ春の、

菜花

菜の花の花さかりなる雀の柿清、

菜の花の花さかりなる清くらかに花の雲　景允

菜の花の花さかりなる春の雨　三陳人

大根花　　徽美

茄菰　　斜竹

海苔　　烏芋　　未雪

二月　　士朔

如月　　一作

二月尽　　士朔

二月尽　　完来

[illegible] 一草

初午

[illegible] 稼 [illegible]

初午や [illegible] 乃 [illegible] 定素

初午や [illegible] 一草

彼岸

[illegible] 彼岸 [illegible] 三

山[illegible] 彼岸 蒼札

[illegible] 阜池

西[illegible]

[illegible] 士湖

涅槃

[illegible] 涅槃 、

[illegible] 定車

[illegible] 牡蠣

[illegible] 棲雲

[illegible] 巣孔

春夏

夏 [illegible] 山 玄桂

夏風

[illegible]　士朔
春[illegible]　三才亮
春[illegible]　昔之
[illegible]　完来
[illegible]　乙二
春[illegible]　戊月
[illegible]　墨水
雪間
[illegible]　士朔
[illegible]　常紀

春　十九

雪と解
[illegible]　三才亮
[illegible]　昔之
[illegible]　一来
[illegible]　日、
[illegible]　完来

七草
山[illegible]　三才亮
[illegible]　士朔
[illegible]　墓　昔三

櫻

月さしてうくてうくてうく

細井

[illegible] 物すさまじ　栄孔

[illegible] 清水の初　春堂

田あ

[illegible] 正月[illegible]　葛之

[illegible]月あのと田まちの[illegible]　岳越

苗代　水口岐阜の苗代[illegible]　栄孔

稲葉山西岐阜の苗代の[illegible]　乙二

山焼

[illegible]山やこの細あのけて焼捨る　葛之

[illegible]　青海木

[illegible]人[illegible]　三子

山伏乃[illegible]　与人

朧夜

[illegible]人形[illegible]古度[illegible]　岳美

[illegible]　士朗

麦秋

麦の[illegible]川[illegible]人[illegible]　城美

麦の[illegible]　自樂

春の雨のたのもしうあるやうなる数　完来

春の雨すこしはつゆもぬれぬ人の、

春の雨のくもりすくなき山かげ　葵亭

春の雨はかなく降りとまる出る　午心

朧月

霞の新しきさしそめ朧月　三子亮

月ちかうあるる朧の小ぶねまて　雨考

雨もとこうす人の引まて朧月　椿里

朧ようふまる月の光うす　士湖

山遠の新しきあんおぼろ月　巣孔

春　廿二

たくさんに咲もちらせし朧月　都美

梅うすに太神人ぶる月、

夷月

ちらうう友達うもん春の月　大江丸

綱ふれとうるの春の月　士湖

よそうあるのあるの春の月　可笑里

春の月ちうんとかうの方　成美

人のかうあるの出小春の月　春雄

ちう婦とやうりに春の月　午心

雨ぶうちふる春の方　乙二

[illegible] 角田川 完来
[illegible] 人 三徳人

陽炎 [illegible]誕

陽炎を [illegible] 士朔
[illegible] 成美
[illegible] 濃紅 [illegible] 三千代

出代

出代戸 [illegible] 梅 一茶
出代戸 [illegible] 玉兎
田鼠化鶉 [illegible] 麦鶉

鶉 [illegible] 成美
[illegible] 丑明
麦 [illegible] 寒松

鳥文

[illegible] 三千代

鳥巣

[illegible] 鳥 [illegible] 成美
鳥 [illegible] 菖三
[illegible] 雀 〃
[illegible] 巣 完来

雀

雀子

雀子やたゞ人たくうす　大江丸

閑なりいとけなくなるよ雀のこ　三子元

父母のあり所を行きかねる雀　士朗

子を呼ぶふる雀の声のゆくゑ　乙二

燕

燕の親つき巣ふしらるゝ　成美

乙鳥やあるじの隙をうかゞふ　完来

夕燕やあるじ知るまじ　一葉

燕扶をぬけ出す影の燕　士朗

春　廿四

蝶

乙鳥のあるくさるやる柳ぶり　来雪

蝶の蝶子ひとの数ち日和とく　成美

蝶や蝶やまし〳〵まるふの橋　三子元

ひらひらと花ふうるも世の蝶　〃

つまもとまらぬ蝶の影ふ　貞徳

花笠ふまうの蝶のとまる　士朗

蝶の影ふまうの蝶のとうも　丹眉

蝶の影　石二　孔子せる　三使人

蛇

蝶

つまはしくしきりに白い蓮　乙二
梅の香ろろろぬくの神に居る　宗集

梅乃恵

山鳥くしに歩いなくく梅の恵　士朔
よの座杯の空心なる人性梅の恵　三子
歩あしやはまそくく梅の妻　阜池
恵ほ梅もまくくまひの月　椿堂
恵梅ゑ梅のまくくあのとき　野渡
意梅の恵くくあの養の藝　井眉

海苔の恵に蒔いまひよりの月　乙二
春の稚子の稚子　丶
恵梅は梅ひとくとなる性　士朔
くくこの月恵のくくを梅の月　丶
あかはくなりなる氷にくく性　三子
月恵の恵くくくる性の郎　可笠
恵くくくふ山にくふ高　蛙
性　子のこの子なるぬるの　樗堂
人の強性もふくく山の郎　士朔
くくあのて梅のくくの初性　著之

蓑

蓑[illegible]車[illegible]蓑 [illegible]

[illegible]の[illegible]の[illegible] 古湖

田螺

[illegible]と[illegible]の田螺の[illegible]

[illegible]歳[illegible]日の[illegible]初[illegible]面[illegible] 午心

小島帰　雲入島

[illegible]や蘭の[illegible]い島[illegible] 三子庵

一[illegible]入[illegible]もある[illegible] 蕚三

[illegible]明[illegible]と[illegible]島 丶

春　廿六

雲雀

山[illegible]雲[illegible]雲雀[illegible] 三子庵

[illegible]追[illegible]伯[illegible]おぼ[illegible]し 蕚三

[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible] 蓑乱

雉子

[illegible]雉[illegible] 士湖

[illegible]小[illegible]の[illegible]かる[illegible] 丶

雉[illegible]月[illegible]る山の上 丶

雉[illegible]人[illegible]る[illegible]の窗 三子庵

[illegible]の雉[illegible]迎[illegible] 丶

[illegible] 松原行 ほ鶯のこゑ　成美

[illegible]の日[illegible]ふるかきの和　乙二

雑[illegible]の[illegible]ふ先の山紫桂　菊三

曳鴨

曳[illegible]野[illegible]小田の鴨　三千代

山田[illegible]川野[illegible]　乙二

帰雁

[illegible]雁[illegible]　士朗

[illegible]雁[illegible]　雅美

[illegible]山[illegible]

春　廿七

[illegible]雁[illegible]　菊三

[illegible]　乙二

[illegible]方[illegible]

[illegible]　海の月

[illegible]　幸元

[illegible]

[illegible]　万知

[illegible]　傳石

夏行

[illegible]　成美

何しらぬ　ふるはきしこと　まつの宿
ちりくもり　ふさもあれ　春の月　年心

夏の鳥

夏の鳥　しゐ書もらん　ほとゝぎす　三千元
ちりくふ　ふまぬ　都なれの　夏の月　春名

初雷　弟鯨　鮒時

とゝ　初　ゝ　雷の　ひゝ　春　年心
あつまの　空あり　のるる　小鯨　奇閑
鮒　時　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　年心

白魚

白魚　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

[illegible]の花をちらす春風　三子光
[illegible]　曾之
花を刈[illegible]　卓池

雛

[illegible]　可雪
雛の日[illegible]　乙二
花ちるを雛の服也の　士朗
雛の雪[illegible]　三子光
[illegible]雛の[illegible]　三子光
[illegible]　雛

春　廿九

[illegible]の奥[illegible]の日ありて雛[illegible]　三子光
我[illegible]　井眉
山[illegible]花の影あり雛の[illegible]　士朗

曲水

曲[illegible]芦[illegible]の解[illegible]　寒松
曲[illegible]の[illegible]花の[illegible]　午心

草

[illegible]蓬[illegible]　菱解
[illegible]　三子光
松[illegible]　午心
[illegible]　子碧

桃日

桃入日色馬より老を拖かるる　苔三

桃の日千歩く笑ひ小菜摘む　三子元

桃の花のしなもも行くべし

仔午

るるるの宮殿ゆ仔午　成美

辻堂も飾くるる仔午　三子元

新宮のためらふ中を仔午　三侍人

晩

さるるるの乃肥ゆ浦の鴨　屋鳥

春　三十

梶

さるるるの梶をさくく夢人の　三子元

川梶乗るるよ闇も十五日　寒松

宮崎乃臨回すや梶を　櫂也

海老鼠

こ梶くるるるるる海老鼠の口　雄閑

木芽ゆ梶ゆやの矢　豆春

寄居虫

寄小子日暮寄虫のやるる　士朗

寄のるるるる寄居虫　櫂也

[illegible]の[illegible]の[illegible]の

[illegible]

春川　成美

[illegible]　仙露

春山

[illegible]　成美

[illegible]　三千元

[illegible]　完来

山にやどるる　[illegible]　三度人

[illegible]　成美

春海

[illegible]　葛之

[illegible]　成美

[illegible]　幸心

[illegible]　白池

[illegible]　茶扎

[illegible]　寝松

[illegible]　千象

春雨

[illegible]　成美

春雨や降てはやみて降てはやみて　樣也
馬　乃尾うつ游く雲間より行く、
春雨や走る人の足元海のうち　乙二
うつぬかるみの上の雨の雫を春の雨　三子光
春雨乃ゆく　乙乃　山の形　士朔
春雨や池のとろ〳〵青の宿、
春の雨のうつけうつて人を降　定来
春の雨白壁ふるさと馬の鞭、
春雨や乾とるも盛の松　丘高

春　三三

春の夕べ　大あくびする美人かな　一蔡
春雨
春の雨りの後よりまとうなり　三子光
別箱
うつ〳〵杉殺る三輪の雨乱れ、
涼あつ〳〵市二俵うつ形も　文左
夏箱
二月のく鶯の鄙戸春の雨　菊と
春の苔も乾ふるあの雨の　定来
夏箱

蕪村句集

春日

春の日や杖を拾ふて遊ばうか　三千代
春の日や鶏とけり合ふ奥の春　午心
春の日もなかばすぎたる蓑作り　長翠
ちるさくらこゝ人ふたりたる夫婦　乙雅

春恨

大佛の雨をうたれて居たりけり　士朗
春は暮れて雨をうたれる大佛殿　獅堂
山々のやうやうすまの春行けり　来左

春の夕霞味噌摺る音ばかりなり　完来
春の人夕霧ちらす茶壺かな　三千代
春の人雨の足もとをとゝのふす　大尾
春〳〵起〳〵患ひ也春心　乙二
梅園の墓へよるべくまゐらん　三千代
春〳〵うゑられ柱聯の俳画かな　寒松
遠寺の春〳〵すゝまれ〳〵　士朗
春と山麦をそなへ亜ゆうれ　乙二
春〳〵と山麦をそなへ亜ゆうれ

春日

永き春の色は足の弱きに逃げ水　三子元
鳥の鳴く陰つゝもの日の暮れ、
日の外と言ふまでの空の色　蓼乱

桃花

夢のまもいつゝふ桃の花ゆゑ　大仁丸
桃を人の折りのる袋ゆゑ　可都里
きらくと桃のさく時の日の　椒美
さくらゆゑ桃のさくのや三三日　完来
蕎麦の刈り出りの桃の花、
桃を人つゝふ雪の日　桂雪

春三五

沿ひそめてたくゝ桃の花　菖三
人のまゝあゝ沿ひそめて桃の花　雪雄
桃の花折りてもあまみ桃のまゝ　井骨
きゝまゝ

咲つまゝ岩ゝ咲ゝ初ゝ　可都里
ちゝんゝ咲や少咲まゝ　三子元
我人の世ふあふ乱初梅　成美
ちゝくゝたゝ咲ゝ初ゝ桜　菖三
沿ひ咲ゝ同ゝ咲ゝ初梅　鳳明
きゝまゝ富士の見て富士見　完来

佐久良

つくしなる　みちの奥なる　梅ぶく　士綱

春雨に　はるかすみ　梅の　まろがれ　丶

春と　捨てし　あり　佐久良の　山路　丶

さくらは　人の　さかり　いまの　世　万葉集

ちりぬ　くれば　ふる　雪　梅　乙二

春の　雪の　うつり　ぬ　散　て　昌三

ゆき　くれ　ば　むら　雪　ちり　初る　蕪村

散　ぬ　ば　梅　ち　て　光　る　丶

散　ぬ　も　花　に　さ　く　ら　ぶ　丶

ゆき　くれ　ば　佐久良　ち　て　雪　月　ぬ　ば　三千彦

ちり　ぬ　ば　ち　て　雪　も　折　ら　ん　梅　ば　素檗

ちり　初　く　ち　て　ち　ら　ば　花　ち　り　ば　千心

雨　寒　佛　ち　ら　ち　ら　ば　省吾

ち　ぬ　ば　ち　ら　ば　ち　ぬ　ば　三千人

我　ち　て　ち　ら　て　ち　ら　ば　峰　蔵　の　小　梅　ば　蒼虬

ち　ら　て　ち　ら　て　ち　ら　ば　梅　と　し　な　る　の　ま　く　素檗

糸梅

ぬ　ち　て　ち　ら　ち　ら　ち　ら　ち　ら　ち　ら　ち　ら　ち　ら　ち　ら　糸　梅　岱水

り　ぬ　ば　り　ち　ら　ち　ら　ち　ら　ち　ら　ち　ら　ち　ら　ち　ら　ち　ら　万和

八重櫻

八重さくら今盛りなるもの哉　三十六

盛さくら

うゝ[illegible]入る望もち[illegible]盛櫻　可翠望

かゝるすよ盛りとて盛さくら　菖之

初花

[illegible]花を[illegible]かゝ[illegible]

初花入ちる時人を[illegible]　三十七

[illegible]花[illegible]折[illegible]会[illegible]　寒松

花

春　三七

花を[illegible]折[illegible]　可翠望

[illegible]花[illegible]　第丸

花の雪会[illegible]　乙二

ちる[illegible]出[illegible]　五明

[illegible]　朱美

[illegible]花の山

[illegible]花を[illegible]　櫻雀

[illegible]折[illegible]眉の[illegible]

[illegible]花[illegible]　菖之

山里[illegible]

[illegible]花の[illegible]　年心

花を我に惜みたる人　寒松
こゝかしこ花を尋ねし春の日　千新
夢さめて見る花にもあるかな　千心
花ちるを惜しむ市ゐる騒がしき　丶
ものぐさ人のあるを花なれや　井眉
一せいにやめまゐて花の路　三津人
花を見る我をさまをせかるる　完未
雨を蓮の花ふるうち雷雨　丶
見えるる作りかたもあるを花の路　成美
花の雪ときあるを歩みなる新行　乙二

春三八

花のさかりをまつ人ぞ　三千代
花ちりて時雨ぞ人の恋しく　士胡
恋しくも花のなごりの暮れぬ　丶

梨花

月もさしかすみもさすよ梨の花　完未
人もなく通の廣き梨の花　千歌

海棠

海棠乃秀てうしく窓の西　屋鳥
海棠の花そのもとも咲交り　完未

辛夷

山ちかく住まる事夫人　三十六
春越の門のもとと呼る事夫人　五十九
春日　木蓮
佛供養の花の中に　三十六
もくもくと春雨降る　太阜
馬酔木花
清水の墓こぶ世縁して酔眠　三十五
子細なく蝶の馬酔木　恒丸
菫
春雨の降る仏の湖のそば　古胡

酒の花菫の郎の山のもの　乙二
春の雨の降る鶯の鳴く　菖蒲
春雨の降る菫の人形を降り　三十六
菫の人形何を降り　古胡
雨の降る菫の子の心　櫻也
山の菫と花を　堂奥
疑ふ
中の国の仏の山の馬の花　三十六
三十六

山の端にそそりたつ雲の花　成美
やまぶきの日をかさねつゝ春の雪　士朗
山ぶきのとくもさくらの花よ　樗堂
山ぶきのとくもさくらの花　素堂

蕨

蕨の花なつかしうれしとなつかふる　士朗
山路分蕨のトの字又さくる　三千元
出ふるる新日出るふるの花　成美
とくすのさくのなのしよ蕨の花　首三
こゝとくいふこ蕨の花　月花

春四十

新人の橋橋てくの蕨の花　首三
冊の蕨とゝ床色もさゝ蕨　定来
蕨とくるんとるさ見池の蕨、

木瓜

ちのもさくるるる木瓜の中　三千元
咲れかるる分のる木瓜の日花　樗堂
古屋やあるる解人木瓜くる　首三

躑躅

まるるさるるるるるつ躑躅　三千元
山つゝし抱物と蕨とる躑躅　首三

なるまゝにつゝし植て花山おろす　乙二
むしさきたうとく佛山つゝし　素檪
鄰屋をとし拾ふて国を通す　青十
河千花　橘花　苏橘
河千垂垂をうゝ宣り母　三津人
古桶やこゝ文　橘ゝ花のうく　一苏
苏もつゝめ拾ふ仏すゆ丘の糸ゝ

蓬翁

我ゝ夢の蓬翁ゝあるあるの羽折　對竹
蓬翁の忌ハ月人あ丹と夜の時　苔孔

席枝　ゝんゝゝ面

席枝も折ゝ名ゝ人の花ゝ　乙二
ゝもゝ山席枝のゝゝ　奇国
ゝゝ山ゝゝ月ゝ　車大
五百花　梅子
川ゝゝ月ゝ丹ゝ　未曽
我国ゝゝゝゝ　一苏
蔦子の葉　蔦子
蔦子葉ゝ我ゝ花の響　素人
芳ゝ梅ゝ花ゝ　三千代

水仙生　岸生

月ふる雁りふる雁生ゝ

生初る岸もとゝ　長嶋

蛇穴出

蛇穴を出るや通るゝ雨　竹馬

寒食

[illegible]　寒松

[illegible]　眉山　牛心

[illegible]

春　四二

[illegible]　完来

行春

行春を帰る竹の日影哉　士羽

[illegible]

行春や[illegible]　三千元

行春を[illegible]

行春や竹[illegible]　昔之

行春や[illegible]　可扶望

行春や[illegible]　雪雄

春名残

山の井を汲のこしたる冬の水　士朔
ねとあのゝしいふりもまるの冬ゝ、
白梅子をさそふまるの冬ゝ　可雄

雲惜

美物はあるゝ白くちるゝ　月花
美物は白馬の髦こゝあくるも　井眉

夏道

夏道くさ多藤の白梅ゝ　三千夫
井の蔭ゝ秋も牧の夏の　乙二

春暮

夏海ゝ島ゝ小ゝ小の春　可雄
泥ゝあゝ流ゝあゝ春　三千夫
羅漢寺の日のくゝの春の水　乙二

三月ゝ

玉川ゝ春ゝとくゝ　伴菊三
春ゝ中ゝ春ゝ春ゝ　一葉